

平成28年10月14日

学力向上便り

深谷市立川本南小学校

全国学力・学習状況調査並びに埼玉県学力・学習状況調査の結果

平成28年度全国学力・学習状況調査（6年児童対象）並びに埼玉県学力・学習状況調査（4・5・6年児童対象）の結果についてお知らせいたします。

調査結果をもとに、本校児童の課題を明確にし、改善への取組をしていきます。これからもご理解とご協力をお願いいたします。

1 全国学力・学習状況調査（6年児童対象）の結果

（全国の正答率を100としての埼玉県と本校の正答率）

【全 体】		国語A	国語B	算数A	算数B
	埼玉県	98.2	98.1	97.8	98.1
	川本南小	93.6	90.5	98.2	94.1
【領 域】		話す・聞く	書く	読む	言語
	埼玉県	99.5	99.9	99.1	97.6
【国語A】	川本南小	97.7	95.3	95.5	92.5
【国語B】	埼玉県	96.5	97.4	98.3	—
	川本南小	86.3	86.5	93.1	—
【算数A】		数と計算	量と測定	図形	数量関係
	埼玉県	97.1	100.1	96.8	99.0
	川本南小	99.0	94.3	96.2	98.8
【算数B】	埼玉県	97.3	100.0	99.4	97.4
	川本南小	90.8	100.5	112.7	89.0

※質問事項は87項目からの抜粋
※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値（単位 %）

	質 問 事 項	埼玉県	川本南小
生活習慣	・毎日朝食を食べている。	101.2	104.6
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	107.3	121.6
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている。	102.4	106.3
	・学校のきまり(規則)を守っている。	103.7	102.2
学習習慣	・家で自分で計画を立てて勉強している。	111.3	129.7
	・家で学校の宿題をしている。	101.0	103.1
	・家で、学校の授業の予習をしている。	122.2	141.6
	・家で、学校の授業の復習をしている。	113.0	122.6
教科への関心	・国語の勉強は好きだ。	99.7	83.0
	・国語の授業で勉強したことは、将来役に立つ。	101.7	97.6
	・算数の勉強は好きだ。	98.3	92.9
	・算数の授業で勉強したことは、将来役に立つ。	101.1	104.1
その他	・将来の夢や目標をもっている。	101.8	113.2
	・自分には、よいところがある。	101.3	76.0
	・難しいことでも、失敗を恐れず挑戦している。。	103.4	88.7
	・人の役に立つ人間になりたいと思う。	100.2	99.7
	・今住んでいる地域の行事に参加している。	99.6	114.0

2 埼玉県学力・学習状況調査（４・５・６年児童対象）の結果

（埼玉県の正答率を100としての深谷市と本校の正答率）

【全 体】	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
深谷市	97.3	98.8	100.8	98.3	98.9	101.0
川本南小	85.3	102.4	90.4	94.0	106.3	98.5

【領 域】

	国 語	話す・聞く	書く	読む	言語
【4年生】	深谷市	94.9	101.1	94.6	97.7
	川本南小	79.0	105.1	86.6	83.5
【5年生】	深谷市	98.9	101.5	97.4	99.4
	川本南小	97.3	118.9	99.6	103.2
【6年生】	深谷市	98.9	114.5	100.3	100.1
	川本南小	81.2	112.2	85.9	92.1

	算 数	数と計算	量と測定	図形	数量関係
【4年生】	深谷市	99.4	96.9	98.6	95.9
	川本南小	90.4	94.1	96.0	105.0
【5年生】	深谷市	100.0	98.8	98.9	98.3
	川本南小	106.3	101.5	108.7	108.7
【6年生】	深谷市	100.0	99.6	102.6	105.1
	川本南小	94.0	104.7	97.1	105.8

※質問事項は63～80項目からの抜粋

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値

	質 問 事 項	小4		小5		小6	
		深谷市	川本南小	深谷市	川本南小	深谷市	川本南小
生活習慣	・毎日朝食を食べている。	101.1	103.0	100.4	99.5	100.6	95.7
	・脱いだ履物のかかとをそろえる。	100.6	106.9	102.7	97.8	101.8	102.6
	・あいさつをすることができる。	105.3	105.9	104.5	93.3	105.8	114.4
	・やさしい言葉づかいができる。	101.8	107.4	105.4	95.9	103.5	102.7
学習習慣	・家で学校の宿題をしている。	100.1	100.1	100.8	103.1	100.4	102.9
	・家で、学校の授業の予習をしている。	106.7	116.7	111.6	115.0	114.8	129.5
	・家で、学校の授業の復習をしている。	110.8	123.0	113.5	113.8	118.1	141.1
	・学校以外に1時間以上勉強している。	113.4	109.1	110.8	107.1	113.0	123.8
教科への関心	・勉強は好きだ。	107.8	118.8	110.2	107.8	115.1	112.7
	・勉強は大切だ。	100.9	102.8	100.8	100.9	100.4	102.4
	・学級での生活は楽しい。	101.3	106.3	103.1	101.3	103.0	110.3
	・学校での生活には満足している。	101.1	105.1	103.9	101.1	104.8	107.4
その他	・将来の夢や目標をもっている。	100.1	102.8	102.2	100.1	103.7	107.6
	・人の役に立つ人間になりたいと思う。	100.3	101.0	100.9	100.3	100.3	103.2
	・人の気持ちがわかる人間になりたいと思う。	100.4	104.0	101.1	100.4	100.3	103.5
	・難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している。	101.7	100.8	105.5	101.7	105.2	116.6

＜埼玉県を100としての深谷市と本校の数値（％）＞

3 考察（よかったところと課題）

①全国学力・学習状況調査の結果より

<国語>

- ・漢字の読み書きや要旨をまとめて書く等は、国や県の正答率より高い。
- ・国語力を活用する国語Bの正答率が国や県より低い。
- ・「話すこと・聞くこと」に比べ、「書くこと」「読むこと」の学習に課題がある。
- ・文を構成する主語、述語の関係や修飾語を捉えること等、文法の学習に課題がある。（言語事項）
- ・複数の文章の情報をからめて選択したり書いたりして答えることに課題がある。
- ・目的や意図に応じ、内容を整理しながら条件に合わせて書くことに課題がある。

<算数>

- ・基礎・基本的な算数Aの正答率が決して高くないのに比べ、活用力をみる算数Bの正答率が国や県より高い。特に、二組の道のりの長さがそれぞれ等しくなることを記述する問題はよくできた。
- ・図形（円、平行四辺形、三角形等）の性質を捉え、問題解決に適用することに課題がある。
- ・小数のひき算（ $6.79 - 0.8$ ）で位（小数点）をそろえて計算すること、三角形の内角の和が 180 度であることの理解、商品の何割引き等、割合や百分率を活用する問題の解決などに課題がある。

<理科>

- ・「物質」「エネルギー」領域の正答率は、国や県より低い、「生命」領域は高い。特にメダカの雌雄を見分けることや顕微鏡の操作方法の問題の正答率が高い。
- ・観察、実験器具（顕微鏡）の名称を答える問題の正答率が低い。
- ・観察や実験によって得られた規則性を、他に活用することに課題がある。（ふりこの問題）
- ・調べた結果を、視点をもって考察、分析して記述することに課題がある。
- ・夕方に見られる月の形と場所を選ぶことや観察している方位が理解できていない児童が多い。

<質問紙調査より>

- ・おおむね国や県平均と同等か高い傾向にある。特に、家庭で宿題、予習、復習と計画的に学習している児童が多い。
- ・国語や算数の勉強が好きという児童の割合が、国や県と比べて高い。しかし、将来役に立つと答えている児童割合は全国平均と同等くらいである。
- ・地域の行事に参加している児童の割合が高い。
- ・毎日朝食を食べている児童の割合がやや低い。

②埼玉県学力・学習状況調査の結果より

<国語>

- ・深谷市や埼玉県と比較して、正答率は4年生が高く、5、6年生が低い。
- ・領域でみていくと、5年生は「話す・聞く」「読む」「言語事項」、6年生は「読む」「言語事項」の正答率が低い。
- ・どの学年も物語文はよいが、説明的文章の読み取りに課題がある。特に、指示語の役割、段落相互の関係、要旨をとらえる、事実の文と意見の文を読み分けること、必要な文を長文の中から書き抜くこと等に課題がある。
- ・言語事項（主語と述語、漢字の音訓、指示語、修飾語と被修飾語、ことわざ、接続語）の理解と適用に課題がある。

<算数>

- ・深谷市や埼玉県と比較して、正答率は4年生が高く、5、6年生はやや低い。
- ・領域で見ていくと、4、5、6年生とも「量と測定」が高く、5年生は「数量関係」、6年生は「図形」が低い。
- ・計算は基礎基本ができています。パターン化されたもの、公式的なものはできています。
- ・記述式は市や県よりも正答率が高い。
- ・正答率が低い学習内容は、除法を用いる場面を選ぶ、分数と小数の計算、分度器、角の大きさ、量感、グラフや表の読み取り、合同な図形等である。
- ・およその広さを感覚的に捉えることや、円周率や図形の定義、グラフや数直線の読み取りに課題がある。

<質問紙調査より>

- ・全体的に県や市の平均と同等か高い割合である。
- ・5年生の生活習慣（特にあいさつとやさしい言葉づかい）が低い。また、6年生の毎日朝食を食べている割合が低い。
- ・家庭における学習習慣も、概ね県や市の割合より高い。学校以外で1時間以上勉強している児童の割合は、6年生が市や県より高く、4、5年生は市の平均より低い。
- ・難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していると答えている児童の割合は、市と比較して6年生が高く、4、5年生が低い。

4 具体的な改善策

<学習全般>

- 「学習のめあて」を明確にし、見通しと振り返る活動を行う1時間の授業展開を続けていく。
- 考える時間を保証し、個に応じた指導の充実を図る。
- わかりやすい板書を心がけ、ノート指導を充実させる。
- 反復練習をする時間を確保し、繰り返し取り組ませる。

<国語>

- 文法に関する学習時間の確保
 - ・文法の時間だけでなく長文読解などの時にも、文法を意図的に授業の中に取り入れる。
 - ・朝学習や家庭学習などの課題として文法の問題を解く機会を増やす。
- 説明文の楽しさや読み取り方がわかる工夫。
- 時間を意識して課題に取り組ませる。
 - ・視写タイムで時間を意識して課題に取り組み、自分が書けた文字数を毎回記録することで、自分の伸びがわかり意欲につながったという例もあった。
- 「書きぬく」の指導を丁寧に行う。
 - ・物語文では、登場人物を人物関係図に表し、行動や会話、描写を手がかりに、性格や心情の変化、思いや考えを書き込んでいく学習活動を取り入れる。
 - ・新聞などを書く学習では、取材した事柄を事実や意見、感想に区別してメモすることを意識させ、目的や意図に応じて、事柄を取捨選択して記事にする学習活動を重視する。

<算数>

- 単元のはじめでは、既習を十分にふり返させる。算数は系統性の強い教科であるが、これまでの学習を忘れてしまっている児童も多いので、復習してレディネスをそろえる。
- コンパスや分度器などの技能の習得は、その単元だけでは、定着が難しいので自主学習やプリントで定期的に復習する。
- 表やグラフを扱う単元では、ただ読み取らせるのではなく、目的は何なのかを児童に意識させ、表やグラフのよさまで気づけるようにする。
- 問題の出し方や聞き方を工夫する。
- B問題を単元のまとめとして授業に取り入れてみる。また、「さんさんタイム」で継続活用。

<理科>

- 実験の後の発展として、実験や観察で学んだことが生活の中で生かされている場面を取り上げる。
- 実験器具の名前を授業の中で繰り返し確認する。
- 実験の予想をする際、自分だけでなく他の子の予想を検討する場面を取り入れる。
- 3・4年の段階で、普段の生活や社会の授業などで意識的に方位の位置関係についてふれさせる。
- 自分の言葉で予想・考察の理由や実験の目的を記述する場面を取り入れる。

<家庭にお願いしたいこと>

- ・読書量の確保として、家庭読書デーの継続を実施しましょう。
- ・「家庭学習の手引き」を活用して家庭学習の内容の工夫をしましょう。
- ・基本的な生活習慣（早寝早起き朝ご飯、靴そろえ、あいさつ、決められたことを守る等）を身に付けられるように、繰り返しの言葉がけと見届けをお願いいたします。

基本的なことをきちんとやっている児童（早寝早起きをする、朝ご飯を食べる、家庭学習をきちんとする、きまりを守る、家族との会話など）は、やはり学力が高い傾向にあることが、文科省の調査などから明らかになってきています。児童の学習環境を保証し、質の高い学校教育を推進するためには、やはり家庭の協力が欠かせません。よろしくお願いいたします。

